

永頼会設立 60 周年記念座談会

2024年4月18日永頼会創立60周年記念座談会第1弾が行われました。山本祐司理事長をはじめ、松山中央乳児保育園初代園長の坂本君枝さん、株式会社松山ホスピタルサービス元支配人の孝橋八千代さんらを囲み、松山市民病院初代理事長の薬師寺眞氏や松山市民病院および永頼会設立のための中核として活動された岡本博氏についてお話いただきました。

語り手：山本理事長（理）、坂本元園長（坂）
孝橋元支配人（孝）



写真中央 山本祐司理事長、左奥より、坂本君枝元園長、松坂美保元主任、安藤かおり園長
右奥より、孝橋八千代元支配人、柚木茂院長、浅野光孝事務長

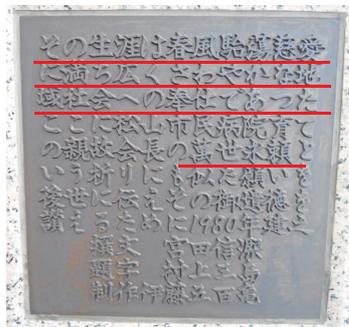
～薬師寺眞氏について～

松山生活協同組合立として病院を創立するにあたり、病院としての体制を確立するため井関農機本社専務（当時）の薬師寺氏が理事長となり、建設が具体的にはかどっていった。病院名は創立の精神を生かし、市民の市民による市民のための病院の意を込めて「松山市民病院」と名付けられ、昭和31年6月1日に落成式が行われた。

また、昭和39年11月には「財団法人永頼会」を設立、理事長のち会長に就任し、松山市民病院の発展に尽力された。その功績を讃え、昭和53年12月落成の永頼会館1階のホールには昭和55年4月に薬師寺氏の胸像が設置された。

坂：薬師寺会長の書かれた「萬世永頼」の書が2つあり、1つを当初保育園の玄関に飾っておりました。開園当初から「萬世永頼」を保育園の精神として運営しておりましたので、その気持ちは今も残っていると思います。特に心に残っているのは、お正月に、「亥の干支のもの皆出しておいで」と言われ、亥年生まれが薬師寺会長と、私と、香川事務長だったのですが、「好きな物を買ってあげる」とのこと、当時保育園にピアノがなかったので、ピアノが欲しい旨をお伝えすると、なんとピアノを寄贈いただきました。ユーモアがあり、温かい方でした。

理：薬師寺会長は生活協同組合時代から当院に関わってこられて、故宮田理事長も、薬師寺会長のことを「春風のようにのどかでゆったりした、おおらかで温かい人であり、慈愛に満ち、地域社会に貢献した人物であった。」とおっしゃっていました。薬師寺像の台座の裏側にもそのような記載されています。



←薬師寺像 ↑台座裏側

～岡本博氏について～

松山市民病院創立にあたり、副理事長として薬師寺理事長を補佐しながら、初めての病院経営に尽力された。財団法人永頼会設立の際には常務理事に就任。病院経営を進める中で患者さんと職員の利便性を考慮し、昭和44年に株式会社松山ホスピタルサービスを設立。その経営方針を利益は求めず、赤字を出さないという点に置き大変好評であった。また、児童福祉の事業にも熱意を持って取り組み、

当時県会議員でもあった同氏が先頭に立って働きかけ、昭和42年には県下で初めての乳児保育園（松山中央乳児保育園）を開設し理事に就任した。そのほか、県下で初めての福祉タクシーを創設するなど、多方面に渡り活躍された。

孝：岡本先生は昭和44年に株式会社松山ホスピタルサービスを設立され、のちに（昭和53年）社長もされました。患者さんや職員のことを第一に考えられた経営で、味よし、量よしで利用者にとっても好評でした。

坂：保育園の職員も食事に困っていたので、ホスピタルサービスが配達してくれて助かりました。行事の後はホスピタルサービスのお弁当が楽しみでした。

孝：中華そばも松山で三本の指に入るとお客様に言っていたいただきました。

理：名物の鍋焼きうどんは今も人気のようですね。今は時代にあわせて食堂と院内のコンビニに分かれて役目を果たしています。

坂：岡本先生はお神輿の寄贈もしてくださいました。昭和56年ごろ、保育園で段ボールで作ったお神輿を担いで園児たちが岡本先生の家の前を通ったんです。するとたまたま岡本先生が出てこられて、園児たちにお菓子をくださりました。後日私と当時の事務長が呼ばれまして、大人と同じようなお神輿を作りなさいと言っていました。昭和59年3月にお神輿が出来上がり、寄贈いただきました。

理：こども神輿は受け継いでいきたいと思います。今年も10月に園児が担いで地域を回ります。

坂：岡本先生は開園以来毎年卒園式に出席して祝辞を読んでもらっていましたが、昭和59年3月27日にお亡くなりになったのですが、入院闘病中の岡本先生に呼ばれ、その年の祝辞は私が代読しました。卒園式の日「今自分の祝辞が読まれているはずだから、寝ている訳にはいかない」とベッドの上に正座されていたと聞きました。

理：岡本先生は、生活協同組合の時代から、松山市民病院創立、永頼会設立、松山中央乳児保育園開設、株式会社松山ホスピタルサービス設立と全てに関わられています。その功績は大きく、忘れてはならないと感じています。今日は貴重なお話をありがとうございました。



寄贈のこども神輿と岡本博氏を囲んで
(昭和59年3月7日撮影)

(文責：医療社会活動室 井上より子、総務課 松井美里)